

第11回 中央区自治協議会 会議録

開催日時	平成30年2月23日（金曜）午後3時00分から午後4時まで
会場	中央区役所 5階 対策室
出席者	<p>委員</p> <p>田巻委員, 清水委員, 田村(幸)委員, 外内委員, 浅野委員, 高橋委員, 加藤委員, 渡部委員, 野澤委員, 樋口委員, 青木委員, 廣瀬委員, 川崎委員, 伊藤委員, 竹田委員, 三國委員, 田村(良)委員, 関谷委員, 田辺委員, 菊地委員, 佐藤(雅)委員, 富樫委員, 吉岡委員, 堀委員, 細川委員, 本間委員, 南雲委員, 渡邊委員, 高岡委員, 藤瀬委員, 大滝委員, 後藤委員, 井上委員, 肥田野委員, 松田委員</p> <p>出席 35名 欠席 3名(津吉委員, 小林委員, 佐藤(俊)委員)</p> <p>事務局</p> <p>【新潟市教育委員会】中央区教育支援センター所長 【中央区役所】区長, 副区長, 窓口サービス課長, 区民生活課長, 区民生活課長補佐, 健康福祉課長補佐, 建設課長, 東出張所長, 南出張所長, 地域課長, 地域課長補佐</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p>○会議の成立について 委員38名中35名出席のため, 規定により会議は成立</p> <p>2 報告(議長=田村会長)</p> <p>――自治協議会委員活動報告――</p> <p>(1) 委員からの報告について</p> <p>①新潟市区自治協議会会長会議(資料 報1-1)</p> <p>(議 長)</p> <p>本日は皆さん大変ご苦勞様でございます。本日配付いたしました次第に則りまして進めていきたいと思っております。報告が2点でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは, 報告に入らせていただきます。報告(1)「委員からの報告について」です。すでに皆様ご承知のことかと思っておりますが, この「委員からの報告」は地域住民の代表という位置づけで各種審議会などからの依頼を受け, 中央区自治協議会からも委員を推薦しているものであり, その委員から概要を報告していただくというものです。また, 委員には中央区自治協議会での報告の際に出された意見などをお伝えしていただければと思っております。</p> <p>それでは, 「新潟市区自治協議会会長会議」について, 私のほうから報告させていただきます。第4回区自治協議会会長会議が1月25日午前10時から市役所本館3階</p>

対策室で行われました。委員8名，会長全員出席でございました。主な議事内容は「区自治協議会のあり方検討会について」であります。二つありまして，一つは市民協働課より，区自治協議会のあり方検討の進捗状況と2月9日開催の「第3回自治協議会のあり方検討委員会」の資料案について説明がありました。二つ目が，市民協働課より，「区自治協議会のあり方検討委員会」からの報告書が今年度末に提出される予定であり，提出された後，各区自治協議会に報告するとの説明がありました。

主な意見としましては，全区のまとめ資料について，「区自治協議会のあり方検討委員会」で1年をかけてスタートしたのだから，もう少し本格的に自治の理念というものを議論してもよかったのではないかと。二つ目として，提案事業について，かわり方をどうするかより，もう少し具体的に地域課題をどう解決していくかという周知が必要ではないかという意見がありました。

それから，皆さんのお手元にあります「参考意見聴取 全区回答まとめ」では細かいところまで出ております。各項目に分類して論点がどういうことがあったのかとか，選択肢はどういうものがあるかということ，回答数は全部で8区となりまして，一番上の「仕組み」については，（現行どおりが）1，（区の実情に合った組織が）7となっております。一番右の「主な補足意見」に二重丸，一重丸の印で区別しておりますが，この様ないろいろな意見がありました。今ここで皆さんが読んでおられますと大変時間がかかりますので，これをお持ち帰りになって，ゆっくりと見直していただきたいと思っております。ご自分の意見と同じものがあるかということや，もし詳しいことを聞きたいということでしたら，来月か再来月に，市民協働課が来られると思うので，そのときに詳しくお聞きになればよろしいかなと思っております。今の説明で，何かご質問等がありますか。

無いようでございますので，次に進みます。

②新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会（資料 報1-2）

（議 長）

続きまして，「新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会」について，後藤委員からご報告をお願いいたします

（後藤委員）

上所小学校地域教育コーディネーターの後藤です。

2月1日に「犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会」に出席してきました。内容は書かれたとおりなのですが，細かく分かりにくいところを説明させていただきます。

新潟市の犯罪は前年よりも866件減少したのですが，特殊詐欺，オレオレ詐欺などが巧みになっており被害件数と，被害額が増えているということでした。中央区では重大犯罪の入り口となる万引きが昨年より70件増えているということで，いろいろなグラフで説明がありました。今年度の目標達成状況については，それぞれご覧のとおりですが，その中の，防犯講習会の開催について説明させていただきます

す。「子ども体験型安全教室」の開催数が86校から105校と、実施した小学校が増えています。この「子ども体験型安全教室」というのは小学校1年生を対象に、道で不審者に会ったときの対処の仕方を勉強するものです。ランドセルを捨てて逃げまじょうということや、不審者が近づいて来たら自分で距離を取ってお話をするということを体験する勉強会です。

また、各区の担当から第4次推進計画における取り組み状況や事例の発表があったのですが、それぞれ振り込め詐欺や侵入盗・乗り物を盗んだり、車上狙い防止のための鍵かけの徹底活動や、子ども対象事件の防止対策をしているという説明がありました。その中で、東区が重点的に取り組んでいる「地域安全マップづくり」について説明させていただきます。これは子どもたちが指導者のもとで外に出掛けていき、危険な場所と安全な場所を地図に書くことで、自分たちで「景色」を見て危ないところと安全なところを覚えるというものです。「入りやすく見えにくいところ」が危険な場所ということ子どもたち自身が写真に撮り、それを地図におとしていくことで、他の地域に行っても、そういった「景色」が危険な場所だということ認識できるようになることを勉強できるものです。警察からは、「そういったよい取り組みにより、子どもたちが作った地図で危険な場所と分かっているのだから、そのままにせず、翌年は、その危険な場所を安全な場所にしていきたい。」というお話がありました。以上です。

(議 長)

ありがとうございました。

ただいまの報告につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。

③新潟市防災会議 津波対策専門会議 (資料 報1-3)

(議 長)

無いようでございますので、引き続き、「新潟市防災会議津波対策専門会議」について、川崎委員からご報告をお願いいたします。

(川崎委員)

長嶺地域コミュニティ協議会の川崎です。

平成29年度第1回新潟市防災会議 津波対策専門会議に出席してまいりました。日時、会場、出席委員は記載のとおりです。

議題といたしまして、(1) これまでの津波対策専門会議の取り組みについて、今回、11名中6名が新規委員でしたので、事務局より平成26年度からの取り組みについて説明がありました。津波対策専門会議は平成24年8月に設置されまして、津波ハザードマップ等の検討、新潟市の津波対策の検討をして、平成26年3月にハザードマップをホームページに公表してまいりました。

(2) 新潟県が公表した新たな津波浸水想定概要について、前回想定との比較説明、主に断層帯について説明がありました。想定断層は平成25年度は県想定6断層プラス参考2断層、平成29年想定が国想定7断層プラス平成25年県想定2断層で

す。津波水位，代表地点になります。平成25年寄居浜が7.3メートル，平成29年は寄居浜11メートル。浸水面積は平成25年は1万971ヘクタール，これは20センチ以上の浸水域が表記されております。平成29年は1万736ヘクタール，これは1センチ以上の区域が表記されております。これを受けて浸水面積は県全体の3分の2が新潟市になりそうです。堤防について，平成25年は堤防なし，すべて決壊したということで想定されております。平成29年は地震直後に75パーセントが沈下し，その後津波越流時点ですべて破壊したということで想定されております。国の想定資料による今回のせり上がりについて浸水深を考慮されております。詳しくは資料を添付してありますので，後ほどご覧ください。

今後のスケジュールについて，今年の8月から9月初めまでに市ホームページに掲載し，区だより等でも周知を図るということです。

(4) 新たな津波ハザードマップ（案）について。市で水の深さを表す緑や黄色等のマップについて，国交省の標準形式を取り入れたマップにしたかどうかということで検討がなされました。県が昨年11月に公表した津波浸水想定を受けて，新しいハザードマップを作成することになりました。3月にもう一度検討してハザードマップの色を変えて検討してみたらどうかという意見もありました。以上です。

(議 長)

ありがとうございました。

ただいまの報告につきまして，何かご質問等ございますでしょうか。

はい，細川委員。

(細川委員)

新潟市中央区社会福祉協議会の細川です。

一つお尋ねしますが，津波の水位のところ平成25年が寄居浜で7.3メートル，平成29年で寄居浜11メートルと上がってきています。前回，新潟日報にも出ていましたけれども，寄居浜は11メートルということで，かなりこれは高い数字だなと思って見ていました。お聞きしたいのは各地点で，それでは例えば寄居浜の一般的に考えて海水の上から，例えば堤防といえますか道路がありますけれども，それがこの地点では15メートルあるから大丈夫だと。この地点では10メートルくらいとか，そういう地点を示してもらわないと，ただ単に寄居浜が11メートルというのは一般的な人から見ると考えにくい。

私の方で独自で区役所のある部署に行きまして話を聞きました。そうすると，例えば寄居浜では15メートルから16メートルというお話があったりします。そういう意味で，それであれば十分11メートルをクリアしているから，その辺のものは大丈夫なのかなという判断材料にもなると思うのですね。ですから，県の方で防災会議で話をされた中で，この地点は11メートル，この地点は10メートルというものがいろいろ出てくると思うのですが，そうしたときに海水面から上がって道路に出るまでに何メートルなのかというものを示していただいたほうが私としては分かりやすいのではないかなと思います。いかがでしょうか。

(川崎委員)

今回は、そこまでの話は出ませんでした。次に、ハザードマップを作るときに色替えというところで時間と水深に分けてハザードマップが出ますので、そのところには表示されてくるのかなと思います。いただいた意見は次の会議に持ち込みたいと思いますので、よろしくお願いします。

(細川委員)

よろしくお願いします。

(議 長)

ありがとうございました。ほかに、どなたかいらっしゃいませんか。無いようでございますので、先に進みます。

④水と土の芸術祭2018実行委員会（資料 報1-4）

(議 長)

「水と土の芸術祭2018実行委員会」について肥田野委員からご報告をお願いいたします。

(肥田野委員)

報告いたします。公募委員の肥田野です、よろしくお願いします。

会議名は水と土の芸術祭2018実行委員会が第3回総会という形で行われました。内容は記載のとおりでございます。今回は何が違うのかということですが、本来のプロジェクトというものではなくて、あくまでも新潟市民のプロジェクトをどうしていくかということを中心に話をされました。2019年が開港150周年ということであって、その中での事業として水と土の芸術祭2018というものが執り行われる中で、いろいろなキーワードが出てまいりました。誇りとか地域活性化という部分で、水と土の芸術祭はやはりそういった部分で日本各地、世界、あとは市民たちをつなげていくというお話がございました。

この自治協議会で関わりがあるものという、私もここら辺は勉強不足だったのですけれども、今年度の決算で市民プロジェクトというものはどういうものかを見たのですけれども、実は三つのコミュニティ協議会も参加してまして、皆さんで水と土の芸術祭という括りの中で自分たちの事業をどうするかという部分に関わりがあり、非常に私も知らない部分でありまして勉強させられたなと思っておりました。共通点は、なぜこのプロジェクトにコミュニティ協議会がかかわっているのかなと思ったので発表を聞いておりましたら、大きなキーワードは多世代交流、皆さんの部会の中でもいろいろ出てくると思うのですけれども、そういった部分がこういった事業を使って地域の課題解決をしようという形で参加資格も非常に印象的でした。参考までにご紹介させていただきました。

(議 長)

ありがとうございました。

ただいまの報告につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。

(2) 部会からの報告について (資料 報2-1 2-2 2-3 2-4)

(議 長)

それでは、次に移ります。報告(2)「部会からの報告について」でございます。五つの部会から報告がございますが、終わりましたら質疑を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、「地域活性化部会」座長の浅野委員からご報告をお願いいたします。

①地域活性化部会

(浅野委員)

浅野でございます。

部会は2月15日に開催しました。その際、先般行われました9日、10日のイベントを振り返ってということで、非常にアンケートもたくさん書いていただきまして、その内容を取りまとめておりますけれども、皆様と協議して、いろいろな面で参考になっていると思っております。特に参加者の感想などでも体験コーナーだとかいろいろありました。販売では、ほとんどの商品が完売しました。古町スイーツは完売で17万くらいの売り上げでした。ほとんど一つのお店が1日の売り上げをあげるくらいの規模でした。非常に喜んでくれました。体験コーナーのほうは1日目が多少、金曜日ということで子どもが少なかったのですけれども、土曜日はほとんど親子連れで体験コーナーがあふれるばかりで時間延長をしなければいけないかなと考えていたしだいです。子どもたちにいろいろな楽しみを経験していただいたと思っております。そんなところで非常にうまくいったのではないかなと思っておりますけれども、我々が事業をするのは、なかなか難しいので、内容をどうするかという問題を、次の部会で検討していくだけでございます。以上でございます。

(議 長)

ありがとうございました。

続きまして、「福祉・安心安全部会」座長の渡邊委員からご報告をお願いいたします。

②福祉・安心安全部会

(渡邊委員)

「福祉・安心安全部会」です。

第10回の部会が2月13日に行われました。地域の茶の間の事例集を作成しておりますけれども、1月までで材料が全部揃って、それを冊子にするために校正をしているところで、その初稿が行われました。表紙、事例の一言一句の確認、写真などを全部確認したところでございます。

最後に、「一覧」という形で、茶の間の会場、参加費をまとめているところがあるのですが、そこをどういう形で掲載するかという議論があったり、はじめはコミュニティ協議会単位で編集していたのですが、そうするとコミュニティ協議会で実施しているのだけれども、場所が隣の小学校区だったりするケースも一部あったり

して、最終的には「〇〇地域」で、どこの茶の間があるかという表記の仕方で統一するような形にしました。

また、自治協議会提案事業の評価についての協議時間がそこまで足りませんで、3月の部会でまた最終確認をするということになりました。

実は、先ほどまで11回目の部会をやっておりました。そこで、この部会のメンバーで集まって校正するのは最後になるのですが第2稿ということで、第10回で修正したところがちゃんと直っているかというところを検討していたところです。次回の3月の本会議で皆様にもお配りできるということでございます。

また、配布先については基本的には各コミュニティ協議会と全512自治会に配布する予定ですが、全部で1,000部刷るので、そのほかどこに配布するかは次回の3月の部会で協議することになっています。以上です。

(議長)

ありがとうございました。

続きまして、「地域と学校部会」座長の井上委員からご報告をお願いいたします。

③地域と学校部会

(井上委員)

「地域と学校部会」の井上です。よろしくお願いたします。

平成30年2月14日に第11回の「地域と学校部会」を開催させていただきました。内容につきましては、平成29年度の部会提案事業についてということで、(1)に記載されていますが、上から白丸二つが、今年度の最終の案件になるのかなと見ております。一つ目が、「キットパスでペインティング」、キットパスという障がいのある方が工場で就労して作っている絵の具の一種なのですけれども、それを使用して子どもたちと障がいのある方もない方も一緒にアート活動をやろうというものを今、進めているところです。3月3日には、こちらの1階のアトリウムで巨大な段ボール迷路が出るのですけれども、その一角で木の幹を障がいのある方が描いてくださって、そこに子どもたちが手形を付けて木を作るという活動をやっておりますので、興味のある方はぜひご覧になっていただければと思います。そうした活動をきっかけに、近隣の小学校に今後、協働する提案を進めていければという流れで、進めているところです。

上所小学校では「子どもと創る四つ葉地域交流事業」ということで公民館等と連携しながら地域と学校の協働事業を展開しているところでございます。

今回、自治協議会のあり方検討会の議論があったようなのですけれども、こうした提案事業を全市でやったらいいのではないかという意見もあがっていたようなのですが、実際に今年度やってみると、各担当者が申請者の話を聞いて進めても、部会に持ち帰ると、問題がみつきり、ある程度進んだものがまた戻ったり、なかなか難しさを感じた事業であります。協働というものは、そういうものなのかもしれませんけれども、実感したところでございます。また、次年度に向けて、部会内で議論が必要などころがあるという状況でございます。

(2) 実施報告書についてですが、プログラミングチャレンジの報告書、たくさんありますけれども、担当者より説明がありました。その叩き台を基に2月末まで

に各担当から実施報告書を作成し、まず29年度としては簡単な報告書を作成して自治協議会に報告していければと思っております。以上となります。

(議長)

ありがとうございました。

続きまして、「水辺とみなと部会」座長の外内委員からご報告をお願いいたします。

④水辺とみなと部会

(外内委員)

「水辺とみなと部会」の外内です。

今回は部会が開催されませんでしたので、先日行われました2月の講演会についてご報告したいと思います。ご承知のように、新潟開港150周年記念講演会「何が湊町新潟の繁栄を支えたのか」というタイトルで2月9日13時30分から新潟市民プラザで行われました。当日、ここで何度か申し上げておきましたけれども、コミュニティ協議会主体で200人くらいと予定していたのですけれども、一般に募集をかけましたところ360名という参加者がありました。とにかく満杯状態で大変ありがたかったです。

内容的に申しますと、このメンバーであります自治協議会の委員が16名、コミュニティ協議会関係が74名、一般が236名ということでございまして、私が見込んでいた、このメンバーとコミュニティ担当者が意外と少なかった。一般の人たちからたくさん来ていただいてありがたかったです。なお、県議、市議が5名おりましたし、行政関係の人が30名ほどおられました。ほぼ360名ということでした。

アンケートもお願いいたしまして、アンケートの回収は251名で、出席者の約70パーセントから回収できました。内容的に、講演会の感想を聞いたところ、「大変良かった」が151名で60パーセント、「良かった」が94名で38パーセント、これを足すと97パーセントでありまして、評価は大変良かったということに尽きると思いますが、若干、「あまり参考にならなかった」というのが1名おりました。年代的に見ますと、30歳代、40歳代が14名の5.6パーセント、50歳から60歳が107名の42パーセント、70歳以上が130名の52パーセントということであります。男女別で見ますと男性が151名の60パーセント、女性が100名の40パーセントという状況であります。どちらにお住まいですかというものに関しましては、「中央区内」が170名の68パーセント、「中央区以外」は75名で30パーセント、「新潟市以外」から6名の2パーセントという分析でございます。

感想としまして、伊藤先生の説明がはっきり、ゆっくり、分かりやすかったという評価であります。また、新潟の港町の成り立ちがよく理解できた、あるいはレジメに沿って順序よく分かりやすく説明されていたということですが、これは内容的に歴史を順を追って説明したので分かりやすかったということでもあります。それから、生まれ育った新潟のまちの歴史を改めて知った、認識をしたという人もおりました。中には、こんな意見がありました。講演の内容に「湊町新潟の繁栄」を復活させるためのヒントがたくさんあったのではないかと思う、という言い方をされた方もいました。全体を通しまして、自治協議会の委員の皆さん、コミュニティ協議会の皆さん、チラシ等の配布をいろいろお手伝いいただきまして、大変ありがとう

ございました。アンケート結果を見ると、この講演会で初めて開講150周年を意識された方も多かったですので、この部会の活動の目的である、区民の皆さんへの啓発がある程度達成できたのではないかなと思っております。来年度も150周年に関する機運の醸成に努めてまいりたいと思っております。いずれにしましても、皆様方のご協力を得まして、無事、盛況に終わったということで、大変感謝申し上げます。ありがとうございました。

(議長)

ありがとうございました。

それでは、続きまして「中央区自治協議会だより編集部会」座長の細川委員からご報告をお願いいたします。

⑤中央区自治協議会だより編集部会

(細川委員)

「中央区自治協議会だより編集部会」です。

第8回中央区自治協議会だより編集部会を2月19日に行いました。出席等については記載のとおりです。議題は、中央区自治協議会だより第19号、3月25日発行の校正ということで話をしました。

第19号の初稿をもとに、レイアウトや文字の大きさ、記事内容などについて検討しました。主な校正内容としましては、部会ごとに使用する色を統一するとか、部会活動の写真はなるべく大きく掲載し、バランスを各々考えてやるとか、それから「自治協議会とは」ということで、今後も、より自治協議会を知っていただくためのQ&Aをもっと分かりやすい内容にするということなどです。それから、1年間の主な議事・取り組みは、内容を簡潔にして写真を入れる。区長インタビューの記事は、編集委員の感想も入れる。最後に、平成30年度の部会の取り組みは、部会で何を取り組むのか分かるような表現に修正するということです。

最後になりますけれども、部会活動の記事については、次の原稿出しの3月上旬までに各部会で内容を固めてもらって、写真や記事を入れていくこととなりました。以上です。

(議長)

ありがとうございました。

これで全部の部会からの報告がありましたが、これにつきまして、何かご質問等がございますか。

はい、浅野委員。

(浅野委員)

上所校区コミュニティ協議会の浅野です。

先ほど報告いたしましたけれども、本当にボランティアの方がいろいろしてくださいまして、特にここにいる後藤委員も2日間立ちっぱなしで頑張ってくれました。疲れて私もダウンしてしまったのですが、青陵大学の学生も一生懸命立ちっぱなしで金の計算から、いろいろな面でフォローしていただきました。ありがとうございます。

(議長)

ありがとうございました。

私からも御礼なのですけれども、大変ありがとうございました。実は、講演が終わってから私も受付のところ立っていたのですけれども、いろいろなお客さんが帰るときに、今日の講演はものすごく良かったと。何が良かったのでしょうかねと言ったら、やっぱり普段、学校で教えてくれない、いろいろな事柄があつて非常に為になって良かったと言つて握手までされました。ある議員さんからは、市議会のほうでも、これはいい話だから何かの機会で行いたいなという提案がございました。一応報告しておきます。ありがとうございました。

ほかに、ございませんか。なければ、次の「その他」に移ります。

3 その他

(議 長)

総務運営会議からの連絡ですが、今年度から中央区自治協議会で行っている地域課題の共有について、テーマを募集しております。どのようなテーマが良いのか迷う部分もあるかと思いますが、遠慮なく提出していただければと思います。この場においてもテーマがあれば挙手をお願いいたします。皆さん、いかがでしょうか。

毎回、「その他」のテーマを設けて、地域課題の共有ということで、いろいろな地域の立場で意見があると思うのです。その辺をよく把握していただければと思います。

無いようでしたら、私のほうから提案したいのですけれども、あまりテーマが大きくなりすぎると大変なことです。いわゆる「ごみ問題」です。皆さんの地域に、ごみステーションがあると思うのですが、テーマを絞りまして、ごみ出しのマナーとか、ステーションの置き場をどのようにしているか。おそらくそれに対してトラブルがないか、もしあつた場合、こういうふうな形で解決しましたよというお話がありましたらお聞かせ願えればと思います。うちの町内はバンバンとうまくいっていますというのはほとんどないかなと思うのですけれども、どうでしょうか。はい、伊藤委員。

(伊藤委員)

新潟地区コミュニティ協議会の伊藤です。

2件報告いたします。まず1件は、私ども全部で340世帯強あるわけですが、その中の3分の2がマンションです。だからトラブル因子というのはだいたい70戸から80戸、これが要はステーションの問題でガタガタするのです。その中の1件、実は折りたたみのゲージでやっていたのですが、3か月前に無くなりました。本当に参りました。それで行政の方に対しては一応、紛失しましたと。盗難という形では、まだ分かりませんので紛失しましたという届けをいたしまして、追加購入し、些少ながら還付申請をさせていただいたのです。こういうことが1件ございました。

もう1件は、私どもは西大畑のほうで、かなり小さな宅地が開発されています。9所帯だとか4所帯分譲だとかというものがあるのですが、その中で行政のほうからの指示もございまして、遅滞なく窓口の自治会長と相談してくださいと。特にごみの設置場所については要注意ですと。この中で、9か所の分譲宅地があつたのですが、事前申請の中で何とかしてくれという開発業者との話があつたのですが、行

政のほうが、これは自治会に任せる。ただし、道に置いたらだめだと、公道に置いたらだめだという規制があったために難航しました。結果、場内で処分地をディベロッパーの中で設置してくださいというのが1件。もう1件は4所帯くらいでございましたので、これは近場のほうで4所帯だからカバーできるだろうと。もしオーバーフローするのであれば折りたたみ式のゲージを追加して対処しろということで、要は、戸建てのほうが非常に面倒くさいです。実は3年前にもものすごく叱られました。ここに置かせてくれと言ったら、俺の前に置くなと。とんでもないということで、空中分解しました。特に問題だったのが資源ごみの回収のステーションでございます。これで随分叱られました。自分の土地ではないのだけれども、ここで出すなど。結局これはやむなく私のマンションの土地に設置したものでございます。かなり神経を使います。以上です。

(議 長)

ありがとうございました。おそらく皆さんのところも同じような悩みがあって、やはり自分の家の前は置きたくない、置かないでくれということで、それともう一つお聞きしたいのが、例えば回収の日にちが月曜日とか水曜日とか曜日が決まっていますよね。前の日にスタンバイして出せるというところがありますか。なぜかと言ったら、朝出勤が早い時間があるから、それで前の日に置かせてくれと。それで片方は「そんなのだめだ」と言うのです。どうですか。

はい、浅野委員。

(浅野委員)

上所校区コミュニティ協議会の浅野です。

個人自営業みたいな方の仕事だと間に合いません。うちは、燃えるごみは8時。早ければ8時前に来ますから、とてもそれに間に合わないのですね。ですから、しようがないから目をつむっているのですけれども。

インターネットで東京都のどこの区か忘れましたが、調べると出てきますけれども、全部1軒1軒、行政側が回収していくというシステムをとったら違反ごみが無くなったというのをやっていました。玄関前にみんな出している。年寄りだとか、場所まで歩けないという方が多いということで、収集車が1軒1軒回っていくのです。それで、研究してみたら面白いなと思いました。どんどん増えているらしいです。インターネットで調べれば分かりますので、私もよく勉強しますので、皆さんもホームページで調べていただきたいなということです。東京都は頑張っているみたいですから、新潟もそういうふうな風潮をつくって行って、老人ばかりのところもありますので、よろしくお願いします。参考までに。

(議 長)

ありがとうございました。

はい、菊地委員。

(菊地委員)

南万代地区コミュニティ協議会の菊地です。

私は駅南の天神2丁目という町内で、全体で500くらいの世帯なのですけれども、マンションがだいたい3分の2くらいの地域です。大きいマンションは各自マンションで所有してもらっております。それから、新しく建てる10世帯くらいのところ

は、やっぱりそのところに設置してもらうことを建設前に業者と話し合っあってやっております。一般のほうのものは、違反ごみが出ることがあります。2か所、ごみの収集場所があります。土曜日の集めが終わったら鍵をかけて月曜日の夜に開けるという形をとっていて、一応24時間鍵は開いているのですよね。違反ごみはどうしても出るので、週に1回業者を頼んで町内で違反ごみを持って行ってもらうという形をとっております。以上です。

(議 長)

ありがとうございました。

はい、佐藤委員。

(佐藤委員)

女池校区コミュニティ協議会の佐藤です。

ごみのことではないのですけれども、似たようなことで、うちの町内は紫鳥線という大きな道路があるのですけれども、脇を歩くとグレーチング、金網が砂で溢れているものがすごく多いのです。雨が降ったらずっと水溜まりになって、一回ひどくて中に木が生えてきたところがあって建設課にお願いしたらきれいにしていただいたのですけれども、ああいうところは、本来は我々がチェックして言うべきなのか、行政のほうで定期的に見回ってきれいにしてくれるのか、その辺が分からないのと、それと付随して、紫鳥線とか和合線とか大きい道路が結構あるのですけれども、夏になると草がワースと生えてきて非常に外観を損ねているというか、県外の人 cameたらインターチェンジから降りてくると、ひどいところだなと思うのではないかなと思うくらい生え揃ってきているというか、そういうものも皆さんのところも同じだと思うのですけれども、それはやっぱり町内でやるべきものでしょうか。うちのコミュニティ協議会は日を決めて町内でやろうということで今年度1回やったのですけれども、あれは町内でやるべきなのか、それとも行政にお願いしたほうがいいのかとか、その辺が分からないので、どうすればいいか教えてください。

(議 長)

はい。ありがとうございました。

ごみ問題とは違いますので、もう少しお待ちください。

はい、外内委員。

(外内委員)

鏡淵小学校区コミュニティ協議会の外内です。

ごみの問題ですけれども、私がいろいろ聞いているものは、ごみは基本的に朝の7時から8時までに出しなさいという話があると。ある町内ではごみ当番といって、ごみステーションに見張り番が立つ町内があるのです。賛否両論あるのです。違反者をださないために立つのだという人もいるし、立っているから持って行きづらいという人もいるのですけれども、立ち番をしているものだから8時にビシッと閉めてしまうのですね。ところが要支援者とか、介護の必要な人たちのところからはヘルパーさんが9時に出てくると、ごみを捨てられないということで問題を提起されているところがあるのですが、皆さんのところはどうかされておられるのかということです。

それから、私のところはごみ出し時間を制限していないから常設のところでは7時

から8時だけど、回収に来るのが10時から10時半なのですね。だから時間をオーバーしても持っていけば、それは持って行くのですけれども、そこら辺の問題点の一つあることと、それから先ほど浅野さんが言った件は、私もテレビで見ました。福岡市で、夜に運転する人はゆっくり運転して、あと二人か三人は歩きながら、家の前に出したごみを入れていくということで、大変好評を得ているということでした。これから、ごみステーションというのは大変問題になってくるわけです。だから、今、浅野さんと私が言ったようなものも一つの手段かなと思います。ただ、それに費用がいくらかかっているか、地域の住民がうるさいと言っていないのか、とか、そういったことは分からないのですけれども、そういう考え方もあるというのを我々は認識しておいてもいいのではないかなということで参考までにお話しさせていただきました。ありがとうございました。

(議長)

ありがとうございました。

はい、廣瀬委員。

(廣瀬委員)

豊照地区コミュニティ協議会の廣瀬です。

2点でございます。1点は浅野さんが言われたような戸別に回収。これは私が以前に住んでいました武蔵野市では戸別で毎朝、自宅の前にごみを出していました。という経緯がございます。これが1点。

2点目は、私どもの町内は、ごみステーションは3町内一緒にやっていますが、だいたい200世帯です。前は、町内によって市の回収時間にバラツキがございまして、同じ町内のはす向かいが午前、私どもは11時とかとなっていました。そうしたら、カラスが多く寄ってくるようになって、3町内会長が集まりまして、朝8時までに出してくれと。そうやって隣の町内と一緒に収集できるようにする方法がよいということで、町内で回覧に出しまして、皆さんにご協力をいただきました。

また、一つはネットをやめて折りたたみ式の檻のステーションを作ったのですが、これも市と業者の方ともいろいろやったのですが、新潟市内では歩道に置く場所が結構あるのですよ。何回も交渉して、廃校になった豊照小学校の歩道が一部ございますので、その一角に折りたたみ式とはいいいながら半固定的なものを置かせていただいて、今はカラスの害は避けられました。以前は、小学校の校庭にカラスがごみを持って行くのですね。学校から苦情がきまして、その収集も我々町内会がやっていたのですが、これでは大変だということで行政にお願いして今言ったような歩道の一部、通学路なのですが、ここに置かせていただき、時間も地域で同じような時間に回収していただくことで、カラスの害は無くなったという例がございます。

それと、一人暮らしのところには特にデイサービスに行っている方は町内ではなかなか手が出せないのですね、デイサービスの方に持って行ってもらうということをやりました。プラスチックは時間かずれますので、町内会長が運んだとか、先ほど言われたようにデイサービスの時間が朝遅く来ますから、生ごみだけは前日に持って行っていただくということで対応させていただきました。以上でございます。

(議長)

ありがとうございました。おそらく皆さんカラスには悩まされていると思うのですけれども、まだまだ尽きないと思うのですが、時間がまいりましたので、佐藤委員の質問については、担当課長の方でよろしく願いいたします。

(担当課長)

建設課長の鈴木と申します。先ほど佐藤委員から側溝の泥は自治会がやったほうがいいのか、それとも行政なのかというご質問がございました。基本的に地域の皆様から側溝の清掃をお願いしているところがございます。ただ、交通量が多くて危険だとか、グレーチング蓋を例えばボルトで締められているだとか、側溝が大きくて地域の皆さんからやっていただくのは危険だという路線につきましては、我々のほうでやらせていただいているところです。

(議 長)

ありがとうございました。佐藤委員。よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

はい、廣瀬委員。

(廣瀬委員)

豊照地区コミュニティ協議会の廣瀬です。

ごみではない部分で。皆さんの全員に該当するのではないと思うのですが、バスのルートが変わったために旧バス停がだいぶ残っているのですよ。この撤去を市にお願いしたのですが、いまだに動いていないということです。これは県外から来る方、あるいは市外から来る方がバス停があるからと並んでいる方が結構いるのですよ。こういうものは早急に撤去していただかないと非常に混乱します。これは一度提案したのですが、その後何にも、動いていません。

それから、もう1点は道路に何々小路とか何とか町内とかというのがあるのですが、剥げてしまうのですね。ですから、ああいうものをもう少しよく分かるような町内表示をやっていただくこともお願いしたのですが、一向に回答もなく、そのままになっています。ですから、これもみんな地域の課題であると思うのです。ですから、要らないものはいつまでも置いておいたら美観上、ごみの捨て場になりかねないのです、屋根があるところは。それは早急に、市から新潟交通に言っていたいで撤去してもらおうということをやっつけていかないと、昔のままだと、そのバス停に行って待っているのですよ。そういうことのないように行政からも新潟交通にご指導いただきたい。前にも申し上げたのですが、一向に実行されていないので、少しずつ実行していただきたいと思っております。以上です。

(議 長)

ありがとうございました。

各担当に要望として申し送りしたいと思いますが、よろしく願いします。

それでは本日本日予定しておりました議事をこれで終了したいと思います。これもちまして、平成29年度 第11回 中央区自治協議会を閉会いたします。大変お疲れさまでございました。事務局から事務連絡ございますか。

(事務局)

ありがとうございました。私からは事務連絡をさせていただきます。

今回は3月23日金曜日、午後1時30分から会場はNEXT21の5階の対策室で行いま

	<p>す。開始時間がいつもより早く午後1時30分からになりますので、お間違いのないようにお願いいたします。以上でございます。</p> <p>本日は、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。</p> <p>4 閉会</p>
傍聴者	4名
報道機関	0社